

■「みんなで ひなまつり」〈桃の節句〉

〈桃の節句〉は、女の子の厄を払い、健やかに育ててほしいと願う行事です。〔こどもの城〕では、「七段飾り」や「つるし飾り」の設置とあわせてプログラムを実施しています。

最近は住宅事情などで「七段飾り」はなかなか飾れない、といった声を多く聞きます。そのためか、〔こどもの城〕に飾ってあるひな壇の前で、正座して親子で語らう場面もよく見られます。きれいな衣装、調度品、緋毛せん、桃の花など「きれいだね」「○○だね」などと語り合いながら共感することも伝承のひとつではないでしょうか。

プログラム（例）

「つるし飾りをつくろう」

①ケント紙など、はさみで切りやすい厚さの厚紙に雛などの型をプリントしておきます。

②千代紙を型よりひとまわり大きく切り、のりしろにします。

③型紙にかぶせ、綿を入れます。いくつか（3個くらい）作ったら、赤い紐（赤色は魔除けの意味があります）でつなげてます。

※それぞれの意匠には、以下のような願いや意味があります。

桃…厄除け、長寿。

ねずみ…五穀豊穡、食に困りませんように。大黒様のお使い。お金に困りませんように。

草履…子どもが早く歩けるように。

うさぎ…赤い目は魔除けと病気を退治する力があります。

三角（菜袋）…病気に無縁でありますように。

□「つるし飾り」の作り方□

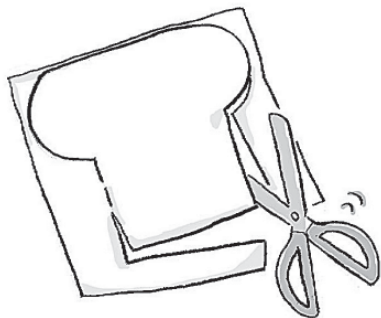
□「つるし飾り」作りで使う道具□

はさみ／のり／ボンド

□「つるし飾り」の材料□

①型紙各種 ②千代紙 ③楊枝

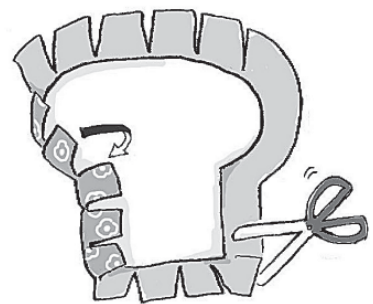
④飾り用のいろいろな紙 ⑤赤い糸（毛糸など）



① 型紙をはさみで切る。



② 鉛筆で千代紙に形をうつす。



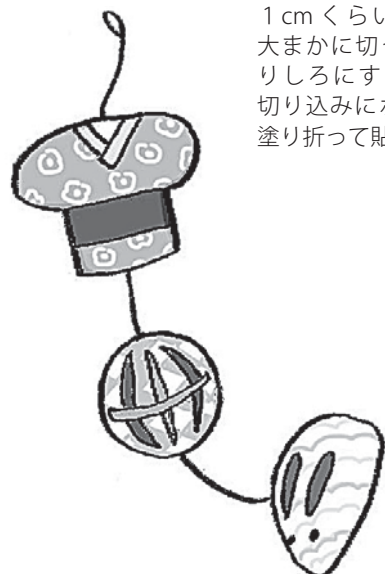
③ うつした線よりも1 cm くらい外側をだまかに切って、のりしろにする。切り込みにボンドを塗り折って貼る。



④ 綿を千代紙と型紙の間に詰める。楊枝などを使うと入れやすい。



⑤ 色紙などで飾りをつけ、赤い糸につないで完成。



イラスト：いがき けいこ

